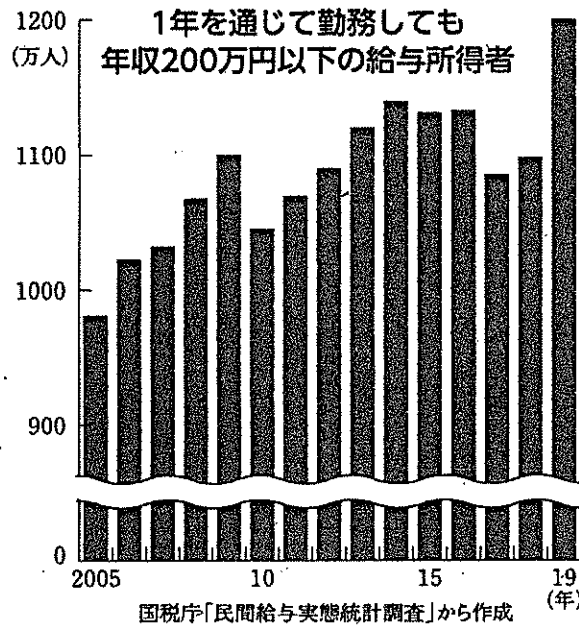


# 年収200万円以下 1200万人



## 統計史上最多

年間を通じて勤務しても  
年収が200万円以下にと  
どまる給与所得者が120  
0万人と調査開始以来最多  
となりました。国税庁が9  
月29日に発表した2019  
年の「民間給与実態統計調  
査概要」からわかりました。

年間を通じて勤務しても  
年収200万円以下層が  
1000万人を超えるのは  
14年連続。今回発表の概要  
では各年収における年齢分  
布がわからないため120  
0万人の内訳は不明です。  
ただ、全体の給与所得者が  
229万人も増加してお  
り、定年後も勤務を続けて  
いる高齢者やパートタイム

労働をしている主婦などが  
相当含まれているとみられ  
ます。

年間を通じて勤務した給  
与所得者の平均賃金は43  
6万円の前年に比べ4万3  
000円の減少。男女別に  
みると男性540万円、女  
性296万円、女性は男性  
の54・8%の額にとどまり  
ます。雇用形態別では正規  
503万円の前年比100  
0円の減少にとどまるのに  
対し、非正規は175万円  
で前年に比べ4万4000  
円の減少となりました。

相対的に賃金の低い非正  
規や中小企業での賃金下落  
が目立ちます。このもとで  
19年10月に10%への消費税  
率引き上げを強行した安倍  
晋三政権の失政は明らかで  
す。